

平成29年12月15日
日本貨物鉄道株式会社

平成30年3月時刻改正 新しい鉄道輸送サービスのご案内

中長距離区間の輸送力を拡充し、お客様のニーズにお応えします

トラックドライバー不足や労働時間の規制強化といった物流業界の諸問題を背景に、鉄道輸送への期待はますます高まっています。JR貨物ではこの期待にお応えし、地球環境への配慮とお客様の利便性向上を実現するため、安定輸送とサービスレベルアップに取り組んでおります。

当社では、鉄道へのモーダルシフトを一層加速させ、お客様の多様なニーズに対応した輸送サービスをご提供するため、中長距離区間におけるコンテナ列車新設や輸送力増強を中心としたダイヤ改正を実施します。

このたび、その詳細がまとまりましたので、お知らせします。

【ダイヤ改正の主な内容】

1. 関西⇄東北間にコンテナ列車を新設
2. 九州⇄関東間で自動車部品輸送を開始
3. ご要望の多い関東→九州向けの輸送力増強

【ダイヤ改正日】

平成30年3月17日(土)

なお、時刻関係については12月15日現在のものであり、変更する場合がございます。

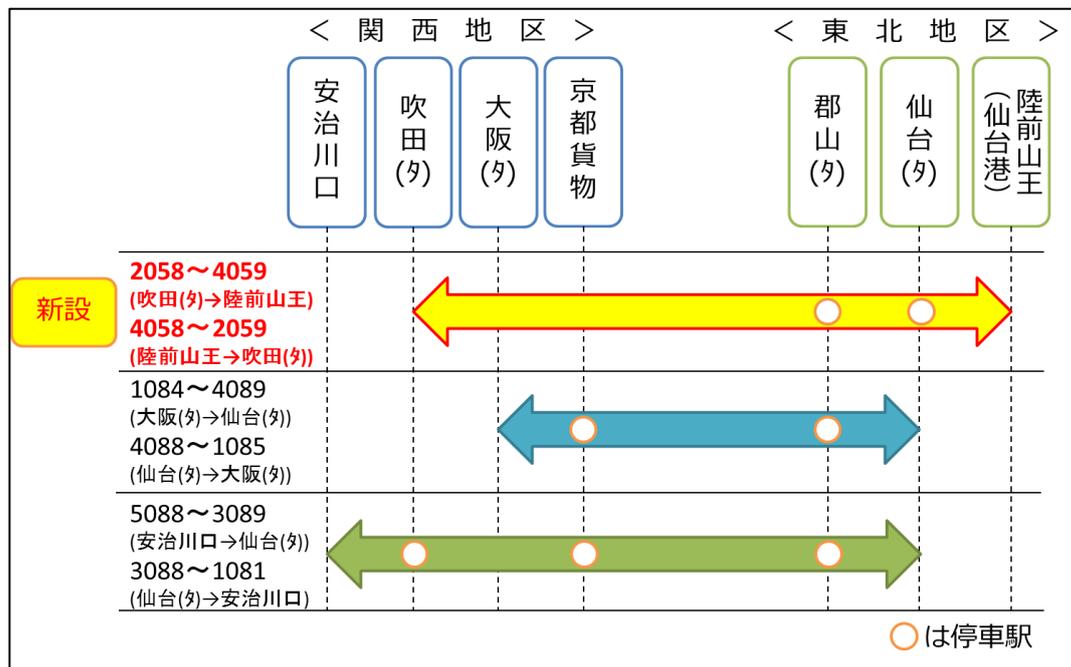
*本文中の(夕)は貨物ターミナル駅の略

関西⇄東北間にコンテナ列車を新設します

関西⇄東北（仙台地区）間に、これまで設定のなかった相互深夜発のコンテナ列車を新設します。主に大手特積事業者様の専用としてご利用いただくとともに、多様化するお客様のニーズにお応えするため、輸送力の一部をご提供します。

列車番号	運転区間		記事(輸送力は12ft換算個数)
	発 駅	着 駅	
2058～4059	吹田(夕) 22:14	陸前山王※ 12:10	途中停車駅：郡山(夕)・仙台(夕) 20両編成・輸送力100個
4058～2059	陸前山王※ 23:06	吹田(夕) 15:44	

※陸前山王駅より仙台臨海鉄道線（仙台港駅）へ直通します。



北九州(夕)⇔相模貨物間で自動車部品輸送を開始します

大手自動車メーカー様のご要望にお応えして、北九州地区から相模地区への自動車部品と、その返送積付用品の往復輸送を行うため、北九州(夕)⇔相模貨物間に専用の直行輸送力を新設します。

列車番号	運転区間		輸送区間		記事(輸送力は12ft換算個数)
	発 駅	着 駅	発 駅	着 駅	
1066～4067	福岡(夕) 6:16	倉賀野 10:48	北九州(夕) 9:24	相模貨物 5:18	北九州(夕)→相模貨物 間 直行輸送力 45 個 新設
5053	東京(夕) 17:59	福岡(夕) 12:47	相模貨物 19:22	北九州(夕) 11:03	相模貨物→北九州(夕) 間 【2列車合計】
4066～5057	倉賀野 19:25	福岡(夕) 21:19	相模貨物 23:45	北九州(夕) 18:20	直行輸送力 35 個 新設



ご要望の多い関東→九州向けの輸送力を増強します

積合せ貨物などの輸送需要が非常に強く、鉄道へのモーダルシフトが引き続き旺盛な、京浜地区→九州向けのコンテナ輸送力を増強します。(合計 25 個分の輸送力を増強)

列車番号	運転区間		記事(輸送力は12ft換算個数)
	発 駅	着 駅	
5053	東京(夕)	福岡(夕)	10 個増強
5055	東京(夕)	福岡(夕)	5 個増強
7053	東京(夕)	福岡(夕)	10 個増強

【内訳】
東京(夕)→福岡(夕) 15 個
川崎貨物→福岡(夕) 10 個

主要都市間を運転するコンテナ列車の速達化を図ります

ダイヤ改正毎に輸送時間の改善に取り組んでいますが、今回のダイヤ改正においても、速達性を重視する区間をはじめとしてコンテナ列車の速達化を行い、更なるリードタイムの短縮を図ります。

【輸送時間を短縮する主な都市間のコンテナ列車】

発地域	運転区間		現 行				改 正				短縮時間
	発駅	着駅	列車番号	発時刻	着時刻	輸送時間	列車番号	発時刻	着時刻	輸送時間	
東北	八戸貨物	百済(夕)	4077 ~4076	18:10	17:48	23h38	4077 ~4076	18:10	17:17	23h07	△0h31
	大館	隅田川	6098	15:16	11:37	20h21	7098 ~6098	16:15	11:37	19h22	△0h59
関東	東京(夕)	大阪(夕)	1089	21:25	6:15	8h50	1089	21:25	5:49	8h24	△0h26
	隅田川	金沢(夕)	2071 ~70	11:21	4:40	17h19	2071 ~70	11:21	0:37	13h16	△4h03
東海	名古屋(夕)	福岡(夕)	57	23:28	12:47	13h19	57	23:28	12:17	12h49	△0h30

機関車・コンテナ貨車・コンテナを新製・増備します

安全・安定輸送を推進し、輸送品質の向上を図るため、輸送機材の設備投資を行います。

【機関車】 6両を新製します。

画像			
形式	EF210 形式	DD200 形式	HD300 形式
新製数	2両	1両	3両
用途	高速・重けん引用	非電化区間・駅構内入換作業用	駅構内入換作業用

【コンテナ貨車】 442両を新製します。

画像	
形式	キ107 形式
新製数	442両
特徴	40.7ト積・最高速度 110km/h

なお本ダイヤ改正より、国鉄時代（昭和46年）から使用してきたコンテナ貨車「キ50000形式」での定期運用を終了し、キ107形式をはじめとする、100km/h以上の走行に対応したコンテナ車形式への置き換えを完了いたします。

【コンテナ】 4,000個を新製します。

画像		
形式	19D 形式	19G 形式
新製数	2,600個	1,400個
扉構造	両側開きタイプ	妻側開きタイプ
内法寸法 (mm)	2,252×2,275×3,647 (高さ) (幅) (長さ)	2,232×2,325×3,588 (高さ) (幅) (長さ)
内容積	18.7 m ³	18.6 m ³